

# 認知的ウェルビーイング： ACHIEVE 研究

難聴と認知機能の関連性に関する新たなエビデンス

01

## 聴覚学における「未開拓」の時代

有力な科学的エビデンスの構築は、臨床試験を行う際に極めて重要です。こうしたエビデンスを得るには、次の要素が必要になります。

- 長年にわたる調査(試験期間)
- 大量の症例数
- 適切な試験デザイン(多施設、無作為化)

ACHIEVE 試験は従来の制約を取り払い、難聴、補聴器、認知機能低下、これらの関連性を理解するうえで、新たな時代を築いています。



02

## ACHIEVE 研究：具体的な情報

ACHIEVE とは、Aging and Cognitive Health Evaluation in Elders (高齢者の老化と認知機能の健康評価)の略です。<sup>1</sup>

ACHIEVE 研究は、高齢者の将来的な認知機能低下の抑制を目的とした、**補聴器における最大規模の無作為化対照臨床試験**です。<sup>2</sup>

ACHIEVE 研究では、聴覚介入により認知機能低下のリスクを低減できるかどうかを調査しました。<sup>1</sup>



### 主な結果：

認知機能低下のリスクが高い高齢者が難聴を改善することで、思考力および記憶力の低下を遅らせることができた

**48%**  
3年の追跡期間<sup>3</sup>

### 今後の展望：

ACHIEVE 研究の主要担当者は、聞こえの治療介入が認知機能やその他のアウトカムに与える長期的な効果を確認するために、引き続き参加者全員について3年以上にわたり追跡調を行う予定である<sup>1</sup>



03

## これまでより優れた聞こえのケア

フォナックは、聞こえのケアにおいてエビデンスや卓越性を促進させるよう注力しています。



当社では、聴覚ケアの専門家に、顧客との話し合いに認知的健康の話題を積極的に取り入れるためのリソースを提供します。



リソースを確認する  
[www.phonak.com/cognitive-well-being](http://www.phonak.com/cognitive-well-being)

1. BSPH Cochlear Center of Hearing and Public Health (2023, August 23). Achieve Healthy Aging. Key Findings. <https://www.achievestudy.org/key-findings>.  
2. Alzheimer's Association International Conference (2023, July 18). Press release. Hearing Aids Slow Cognitive Decline in Older Adults with Hearing Loss and at Risk for Cognitive Decline. [https://aaic.alz.org/releases\\_2023/hearing-aids-slow-cognitive-decline.asp](https://aaic.alz.org/releases_2023/hearing-aids-slow-cognitive-decline.asp).  
3. Lin, F., et al. (2023; July 17). Hearing intervention versus health education control to reduce cognitive decline in older adults with hearing loss in the USA (ACHIEVE): a multicentre, randomised controlled trial. The Lancet. [https://doi.org/10.1016/S0140-6736\(23\)01406-X](https://doi.org/10.1016/S0140-6736(23)01406-X).

